

# 派遣切りでお金も住むところもなくなった 利根沼田派遣村に相談に訪れ生活保護を申請へ

6月28日開かれた「利根沼田派遣村 何でも相談会」に、38人（吾妻からの2人を含む）が相談などに訪れました。

相談に訪れた人のなかには、「派遣切りにあった友人のアパートに身を寄せ、所持金はあと3000円ほど」という人など、派遣切りなどにあい仕事をなくし、生活に困っていると言う深刻な相談が多く寄せられ、生活保護の申請や失業保険の申請などを翌日おこなうことにした人もいました。



「利根沼田派遣村」の開村式

当日は、医師や弁護士、社会保険労務士、労働組合役員など専門的な人から主婦、年金生活者など市民、議員など100人を超える人がボランティアとして参加し、大東議員も相談員として参加しました。



相談にこたえる大東議員

製麺業者からうどん、農家やスーパーから食材が提供され、募金も寄せられました。

製麺業者からうどん、農家やスーパーから食材が提供され、募金も寄せられました。

## 乗り合いタクシー存続の署名にご協力ください

乗り合いタクシー存続を求める署名が、奈良・秋塚、宇楚井・原、上川田などで取り組まれています。

大東議員も上川田で、乗り合いタクシー存続署名の協力を呼びかけ、署名で訪問すると、「もっと、どんどんまわった方がいいよ」と声をかけられました。



## 住宅リフォームに助成を 大東のぶゆき議員の一般質問

大東議員は、耐震補強や家のバリアフリー化をすすめる、市内の業者に仕事を増やすためにも、住宅のリフォームへ助成をおこなうよう求めました。

市長は、「地元の中小業者の支援に有益な事業と考えていますが、他の補助事業や他市の実施状況を勘案しながら、今後も調査・研究を続けていきます。」と答え、具体的に取り組む姿勢は示しませんでした。

大東議員は、住宅リフォームをすすめることで、大きな経済効果を生み出すことを示し、重ねて住宅リフォームへの助成を実施するよう求めました。

市長は、「有効な手だてだとは思っている。」と答えましたが、実施にむけた考えは示されませんでした。

2009年7月5日

NO. 179

日本共産党 大東のぶゆき議員活動地域後援会ニュース

**やまびこ**

発行所 沼田市下久屋町983 TEL 23-1519 部内資料



## こんにちは 大東のぶゆきです

こんにちは。「かんぼの宿」をたたき売るなど、郵政事業を食い物にしてきた西川善文日本郵政社長（元三井住友グループ社長）の再任が取締役会で決まりました。「かんぼの宿」などの売却問題は、二千四百億円をかけて取得・建設した土地・建物を、わずか百九億円でオリックスに売却しようとした問題ですが、郵政事業という国民の共有財産を食い物にした疑惑はこれだけにとどまりません。

とりわけ露骨なのは、西川社長の出身企業の三井住友がらみの疑惑です。郵政公社では発行枚数の0.2%しか占めていなかった三井住友カードが、九十九%を占める独占的地位に上り詰めましたが、選定にかかわった日本郵政の幹部は、三井住友出身者だらけでした。

こうした疑惑のなかで、簡易郵便局の閉鎖や集配局の統合など地方の切り捨てがすすめられていることは、絶対に許すことばできません。郵政民営化そのものを、根本から見直す時です。



## ぶらり散歩 めまた道 利南地区 その七 上沼須町 えんじゅ坂 さいかち坂 神明宮の芭蕉句碑

沼田病院から上沼須に向かう坂の途中から利南中跡地にのびる坂を「さいかち坂」といいます。

戦国時代、片品川を挟んで、真田氏と北条氏がにらみ合っている時、北条氏の先陣が「さいかち坂」を登り、横塚の愛宕神社付近に陣



左がえんじゅ坂右がさいかち坂をはったと、加沢記に書かれています。

利南公民館の東側に沼須城があり、北条氏に対する最前線基地のような役割を担っていたと考えられます。

上沼須神明宮には、「涼しさや 直に野松の 枝の形」という芭蕉の句が、自然石に彫られ、竹林を背に建っています。

以前は、沼田街道の老杉の下にあったと 神明宮の芭蕉句碑 いわれています。

## 無料 生活法律相談のお知らせ

弁護士が遺産相続、交通事故、サラ金の相談におこたえします。

日時 7月8日・22日 午後1時から

場所 日本共産党利根沼田地区委員会事務所

沼田市下久屋町983 TEL 23-1519

※相談を希望される方は、前日までにご連絡ください。